

Ride on time

Vol.1

千西一週 特別特集号

2024年7月25日 発行

上田西高等学校新聞委員会編集局

編集局長 : 田村さくら

新聞委員長 : 金井 茉優



オリンピック
づくに挑む

上田西高卒業生

アーティスティックスイミング
日本代表 和田 彩未



WORLD AQUATICS AS W杯 2024 フランス大会のチームフリーでは金メダル、チームアクロバティックでは銀メダルを獲得した

集中

アーティスティックスイミング日本代表
和田彩未



和田 彩未 (わだ あみ)
戸倉上山田中〜上田西高〜早稲田大スポーツ科学部3年
長野 AS クラブ所属 国体・日本選手権優勝
2019年上田西高入学
在学中は唯一出場した3年の強歩大会で金メダル獲得
学習にも集中的に取り組み学年1位の成績を取めるなど
文武両道で活躍した

世界選手権やアジア大会の様子、パリ2024オリンピックに向けた目標を語る和田選手 撮影=金井 菜優

総合力高めメダルに挑む

アーティスティックスイミングは8月6日から

まもなく開幕するパリ2024オリンピックに、本校卒業生の和田彩未選手(21卒・戸倉上山田中〜上田西高〜早稲田大スポーツ科学部3年)がアーティスティックスイミング(AS)のチーム種目から出場する。上田西高関係者では初となるオリンピックだ。高校在学時から世界で活躍していた和田選手にオリンピック予選を兼ねたアジア大会、世界選手権の様子や学生生活について話を聞いた。

ライバルには届かなかった。昨年10月に行われたアジア大会。優勝すればオリンピック出場が決まる大一番だったが中国の壁に阻まれた。アジア大会では技の構成が課題でした。また、技術面でも中国の方が技の難易度や、高さがあり日本には足りなかった部分だと感じました」と振り返る。

仕切り直して臨んだ今年2月の世界選手権。オリンピックの出場権獲得の最後のチャンスだった。この大会ではすでにパリ2024オリンピック出場を決めている中国を含めた5カ国を除く上位5チームに出場権が与えられ、日本は3番手で見事出場権を獲得した。「日本の他の選手に比べ技術不足を実感していた」と話したが、金・銀メダルを獲得した5月のフランスW杯後に正式にオリンピック出場メンバーに選ばれた。選考後は日の丸を背負いオリンピックに出場することに対し気持ちを奮い立たせ練習を続ける。

アーティスティックスイミングを取り巻く環境も変化した。2年前に行われた

では面接と小論文が課された。大学の友人は「学力だけでなく、アスリートとしてのレベルも高く、多くの刺激を受けている」とのこと。競技を続けながら勉学にも励んでいるが、月に2・3回、12日間ほどの合宿を毎月こなす多忙な日々を送っている。大学へ通えるのは月に2〜4回ほどだそう、競技と学業の両立というハードな生活を送っている。

学校に通えることが少ないため、授業内容を友人から聞くこともしばしば。助けてくれる優しい友人も多く、学びたいことを学べている環境があることに感謝した。千曲市にある実家に帰省する際には普段こなせなかった分の課題に時間を費やす。家にいると集中できて一気に終わるので、練習にも専念できる」と話してくれた。

代表の練習が行われる味の素ナショナルトレーニングセンターでは他競技の選手と一緒にすることもあり、男子バレーボールの石川祐希選手とは同じトレーニングルームで顔を合わせた。普段自分達がテレビやネットを介してしか見れないようなトップアスリート達と切磋琢磨し、学業と両立しながら日々トレーニングに励んでいる。

大田すみれ



高3の強歩大会で女子1位となり金メダルを獲得

を選んだ。高校時代の思い出を尋ねると、「初めて参加できた高3の時の強歩大会」と和田選手。この時の強歩大会では女子1位に輝き見事金メダルを獲得。トップアスリートの片鱗を見せた。コロナ禍のため全校が集まらず、放送での順位発表となったが、「速かったライバルの生徒に勝てたことが嬉しかった」と頬を緩めた。3年のクラスマッチではバレーボールとバドミントンの両競技に参加。クラスのみならず行事を楽しむことができていい思い出になった」と振り返った。

最後に西高生へ向けて、「辛いことがあっても何かを頑張っていれば結果は必ず出る。最後まで諦めずに成し遂げて欲しい」とエールを送った。

大田すみれ

高校生活の思い出は「学校行事」
強歩大会では金メダル獲得

2019年、高校は競技と勉学の両立を可能にする環境にあった上田西高

Ride on time について

いつも千西一週をご愛読いただきありがとうございます。Ride on timeには「時流に乗る」「流行に乗り遅れるな」という意味があり、前新聞委員長の樋口華さんによって名付けられました。上田西高校で活躍する個人や団体、または卒業生にスポットあてる特別特集号となります。活躍する西高生や先輩の姿を見ながら自分自身の飛躍に繋げて下さい。